

ハードウェア安定稼働支援サービス ドライバパック ユーザーズガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。
製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

登録商標・商標

HITACHI は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

HPE、ProLiant は、米国およびその他の国における Hewlett Packard Enterprise Company の商標または登録商標です。

Intel、インテル、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer および Hyper-V は、米国

Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国で Red Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行

2022 年 4 月(初版)

版権

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved. Copyright © 2022, Hitachi, Ltd.

文書来歴

改定	年月日	説明
4071-1J-109	2022 年 4 月	初版

はじめに

このたびは、日立アドバンストサーバ HA8000V ハードウェア安定稼働支援サービスをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品ご使用の前に、本書をご熟読のうえ、正しくお使いください。

マニュアルをご参照されるときの注意事項

本製品に関するマニュアルは、Hewlett Packard Enterprise 社が作成したものを参照いただく場合があります。その際、マニュアルに記載されている製品名などの用語は、以下のように読み替えてください。

Hewlett Packard Enterprise社 表記	読み替え内容
Hewlett Packard EnterpriseまたはHPE	日立製作所
HPE ProLiant サーバ または、ProLiant サーバ	HA8000V サーバ
SPP(Service Pack for ProLiant)	SPH(Service Pack for HA8000V)

HA8000V サーバのその他のマニュアルでは、VMware 社の関連製品の用語について以下のように読み替えてください。

読み替前	読み替後
VMware vSphere ESXi	VMware ESXi

また、ご覧いただくマニュアルは次のようなものがあります。

マニュアル種・マニュアル名	概要
各システム装置のユーザーガイド	システム装置に関するメインのマニュアルになります。対象モデルのユーザーガイドをご覧ください。
iLO ユーザーガイド	iLOは、システム装置のシステムボード上に実装したサーバ管理プロセッサです。このマニュアルでは、その操作や設定方法を説明します。
各種オプション／ツールのマニュアル	HA8000Vマニュアルホームページ内のよく読まれるマニュアルを閲覧いただけます。
上記以外の各種オプション／ツールのマニュアル	Hewlett Packard Enterprise 社のホームページ内に掲載されるマニュアルを検索いただき閲覧いただけます。製品によっては、英語版掲載のみの場合もございます。

本製品に関するお問い合わせについて

本製品に関するお問い合わせにつきましては、お買い求め先までお問い合わせください。

お知らせ

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断りします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お問い合わせ先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いません。

規制・対策などについて

・海外での使用について

本製品は日本国内専用です。国外では使用しないでください。

なお、他国には各々の国で必要となる法律、規格などが定められており、本製品は適合していません。

マニュアルの表記

このマニュアルの表記ルールについて説明します。

なお、マニュアルで説明している画面やイラストは一例であり、またマニュアル制作時点のものです。製品や製品の出荷時期により異なる場合があります。

マニュアル内の記号

マニュアル内で使用しているマークの意味は、次のとおりです。

 警告	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
 注意	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。
通知	これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。
 制限	システム装置の故障や障害の発生を防止し、正常に動作させるための事項を示します。
 補足	システム装置を活用するためのアドバイスを示します。

システム装置の表記

このマニュアルでは、システム装置を装置と略して表記することがあります。

略語・用語

本マニュアルで使用している略語と用語は、次のとおりです。

略語・用語	説明
ドライバパック	システム装置に最適なドライバを集約したzip形式のアーカイブファイル
ハードウェア安定稼働支援サービス向けSPH	ドライバパックをシステム装置に適用する際に使用する専用のSPH
SUM	Smart Update ManagerはSPHに含まれ、HA8000Vのサーバ/コントローラ/ストレージの、ファームウェアとシステムソフトウェア（ドライバ、エージェント、ユーティリティソフト）をアップデートするツール
iSUT	Integrated Smart Update Tools

オペレーティングシステム(OS)の略称

このマニュアルでは、次の OS 名称を省略して表記します。

- Microsoft® Windows Server® 2019 Standard 日本語版
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter 日本語版
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2016 Standard 日本語版
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter 日本語版
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard 日本語版
(以下、Windows)
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter 日本語版
(以下、Windows)
- Red Hat Enterprise Linux Server 8.x(64-bit x86_64)
(以下、Linux)
- Red Hat Enterprise Linux Server 7.x(64-bit x86_64)
(以下、Linux)
- Red Hat Enterprise Linux Server 6.x(64-bit x86_64)
(以下、Linux)

安全にお使いいただくために

安全に関する注意事項は、下に示す見出しによって表示されます。これは安全警告記号と「警告」、「注意」および「通知」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全警告記号です。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージにしたがってください。



これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



これは、人身傷害とは関係のない損害を引き起こすおそれのある場合に用います。



【表記例 1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



【表記例 2】分解禁止

○の図記号は行ってはいけないことを示し、○の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

なお ○ の中に絵がないものは、一般的な禁止事項を示します。



【表記例 3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

なお、● は一般的に行っていただきたい事項を示します。

安全に関する共通的な注意について

次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

- 操作は、このマニュアル内の指示、手順にしたがって行ってください。
- 本製品やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。
- 本製品に搭載または接続するオプションなど、ほかの製品に添付されているマニュアルもご参考し、記載されている注意事項を必ず守ってください。

これらを怠ると、人身上の傷害やシステムを含む財産の損害を引き起こすことがあります。

操作や動作は

マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。

本製品について何か問題がある場合は、お買い求め先にご連絡ください。

自分自身でもご注意を

本製品やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を超えた事態が起こることが考えられます。操作にあたっては、指示にしたがうだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

安全にお使いいただくために(続き)

警告表示

⚠ 警告

本マニュアル内にはありません。

⚠ 注意

本マニュアル内にはありません。

通知

電源操作

- 電源操作は決められた手順に従って行ってください。決められた手順に従わずに電源を入れたり切ったりすると、装置の故障やデータの消失の原因となります。
- 電源を切る前に、すべてのアプリケーションの処理が終了していることと、接続されているデバイスや周辺機器にアクセスがない(停止している)ことをご確認ください。動作中に電源を切ると、装置の故障やデータの消失の原因となります。
- シャットダウン処理を行う必要がある OS をお使いの場合、シャットダウン処理が終了してから電源を切ってください。データを消失するおそれがあります。
なお、OS により電源を切る手順が異なりますので、OS に添付されるマニュアルもあわせてご参照ください。

キーボード、マウス、ディスプレイの取り扱い

- キーボード・マウス・ディスプレイはサポートしているオプション品を使用してください。その他のものを使用した場合、正常に動作しなかったり故障したりすることがあります。

目次

登録商標・商標	2
発行	2
版権	2
文書来歴	2
はじめに	3
お知らせ	4
マニュアルの表記	5
安全にお使いいただくために	7
警告表示	8
目次	9
1. ドライバパックについて	10
2. ドライバパックによるドライバのインストール	11
2.1. 概要	11
2.2. インストール手順詳細	11
2.2.1. ドライバパックの準備	11
2.2.2. ハードウェア安定稼働支援サービス向け SPH のマウント	11
2.2.3. SUM キャッシュファイルの消去	11
2.2.4. SUM の起動	12
2.2.5. ドライバパックのインポート	13
2.2.6. 追加パッケージの選択とドライバのインストール	17
2.3. 制限事項	21

1. ドライバパックについて

ドライバパックは、PC サーバ(HA8000V)製品情報検索システムサイトにアップロードしたシステム装置の構成情報ログファイルから、現在のファームウェア／ドライババージョン、及び日立がアップデートを推奨するバージョンや重要なお知らせ／アドバイザリの情報を解析し、最適なドライバ群を集約したアーカイブファイルです。

ドライバパックを適用する事で、ご使用中のシステム装置を最適な状態に保つことが可能です。

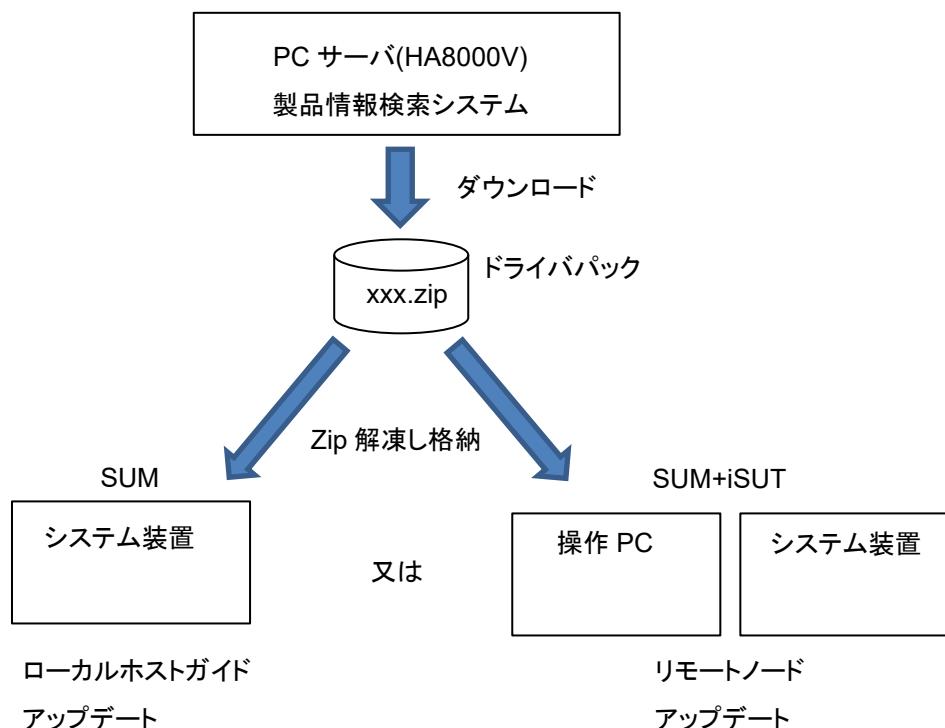


図 1.1 ドライバパック概要

2. ドライバパックによるドライバのインストール

2.1. 概要

ドライバパックは SPH の SUM を利用してドライバをインストールします。ドライバパックを SUM のベースラインライブラリの追加パッケージとしてインポートして使用します。SPH はハードウェア安定稼働支援サービス向けのものを使用してください。

本章では、ドライバパックをインポートする手順、及びインポートしたドライバパックを選択するまでの手順を示します。本章に記載した項目以外の SPH 及び SUM、iSUT の使用方法については日立ダウンロードサイト(HA8000V シリーズマニュアル)を参照してください。

2.2. インストール手順詳細

2.2.1. ドライバパックの準備

SUM で使用する展開モードに従い、ドライバパックを準備します。

◇SUM のローカル展開モードを使用してインストールする場合

ドライバパックのアーカイブファイルを展開し、システム装置の任意のフォルダにコピーします。

◇SUM のリモート展開モードを使用してインストールする場合

ドライバパックのアーカイブファイルを展開し、SUM を実行する操作 PC の任意のフォルダにコピーします。

なお、リモート展開モードを使用する場合、事前に「iSUT」のインストール及びホストに対する設定が必要です。

「iSUT」が未インストールの場合、SPH の Readme を参照して、本作業前に「iSUT」のインストール及びホストに対する設定を実施してください。

2.2.2. ハードウェア安定稼働支援サービス向け SPH のマウント

SUM を実行する端末(システム装置又は操作 PC)にハードウェア安定稼働支援サービス向け SPH のイメージファイルをマウントします。本 SPH は下記のサイトよりダウンロード願います。

◇ダウンロードサイト: <https://www.hitachi.co.jp/products/it/ha8000v/download/index.html>

2.2.3. SUM キャッシュファイルの消去

過去に SUM を実行した場合、SUM のキャッシュファイルが残ります。キャッシュファイルがあると意図しないドライバをインストールする恐れがあるため、キャッシュを消去してから作業を開始することをお勧めします。本手順を実行すると、過去に追加したベースライン／ファイルが削除されます。

◇端末が Windows PC の場合: SPH の packages フォルダ内の「clean-cache.bat」を実行します。

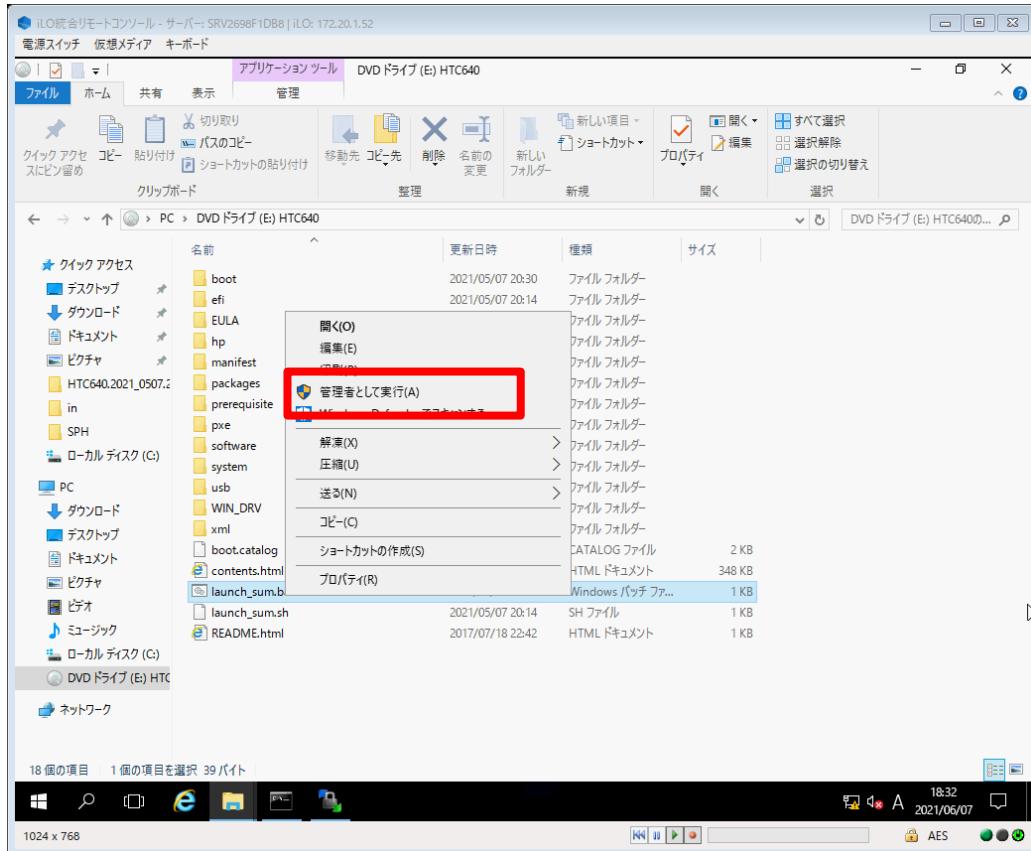
◇端末が Linux PC の場合: SPH の packages フォルダ内の「clean-cache.sh」を実行します。

2.2.4. SUM の起動

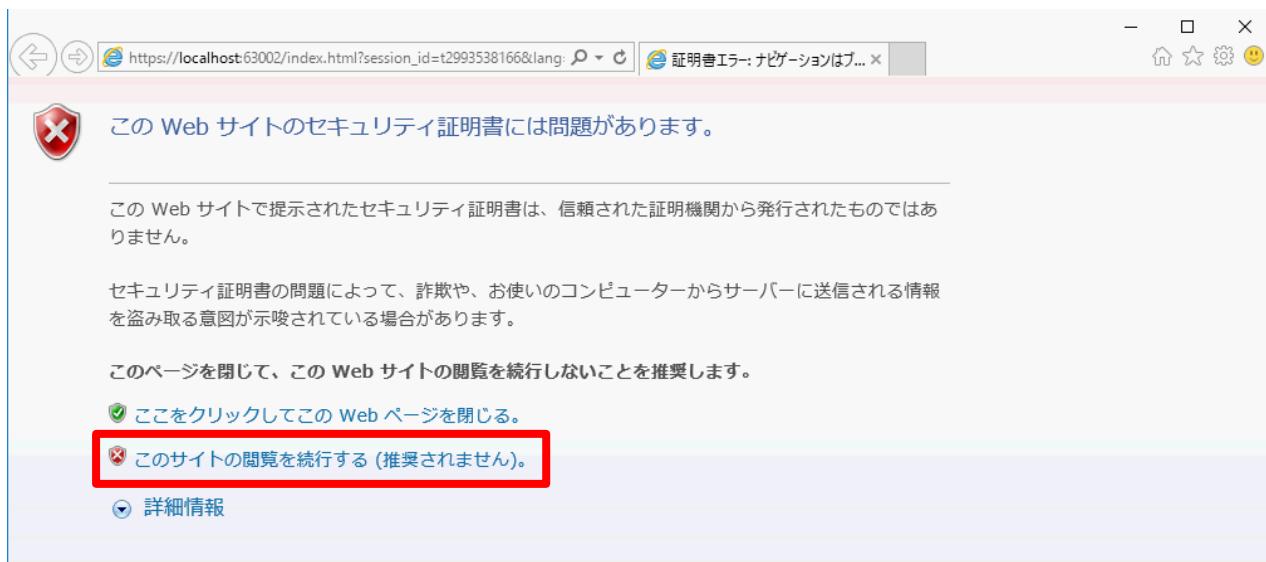
(1) SPHの起動スクリプトを管理者権限で実行します。

◇端末が Windows PC の場合:SPH の「launch_sum.bat」を実行します。

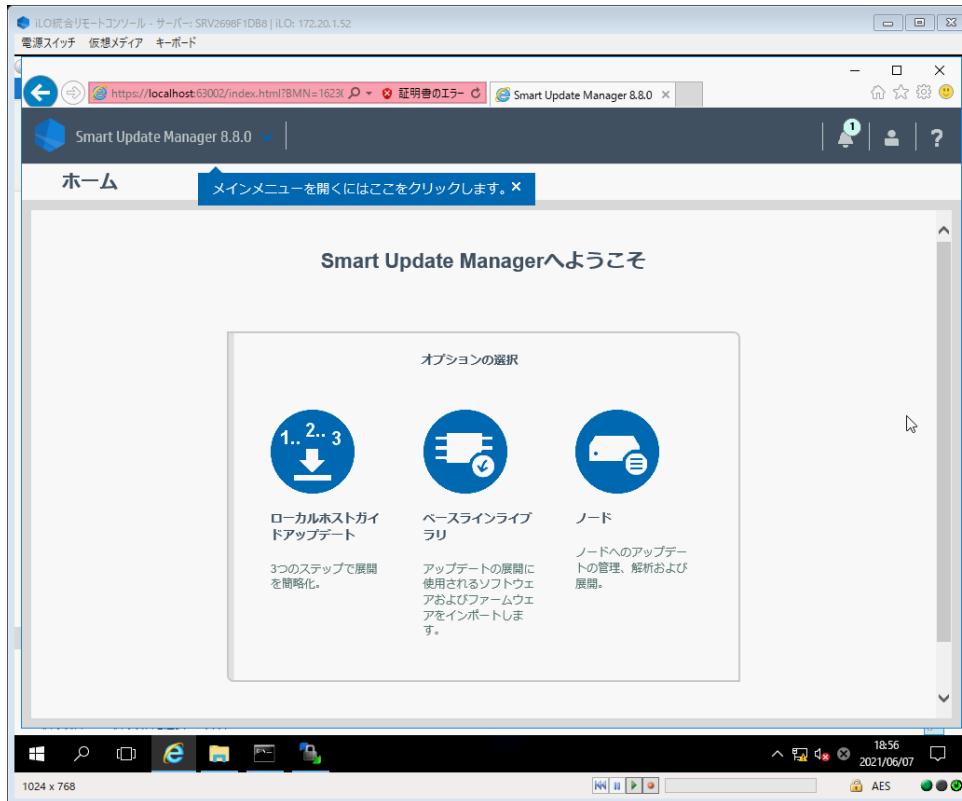
◇端末が Linux PC の場合:SPH の「launch_sum.sh」を実行します。



(2) 下記のセキュリティ証明書に関する警告が表示された場合は「このサイトの閲覧を続行する」を選択してください。

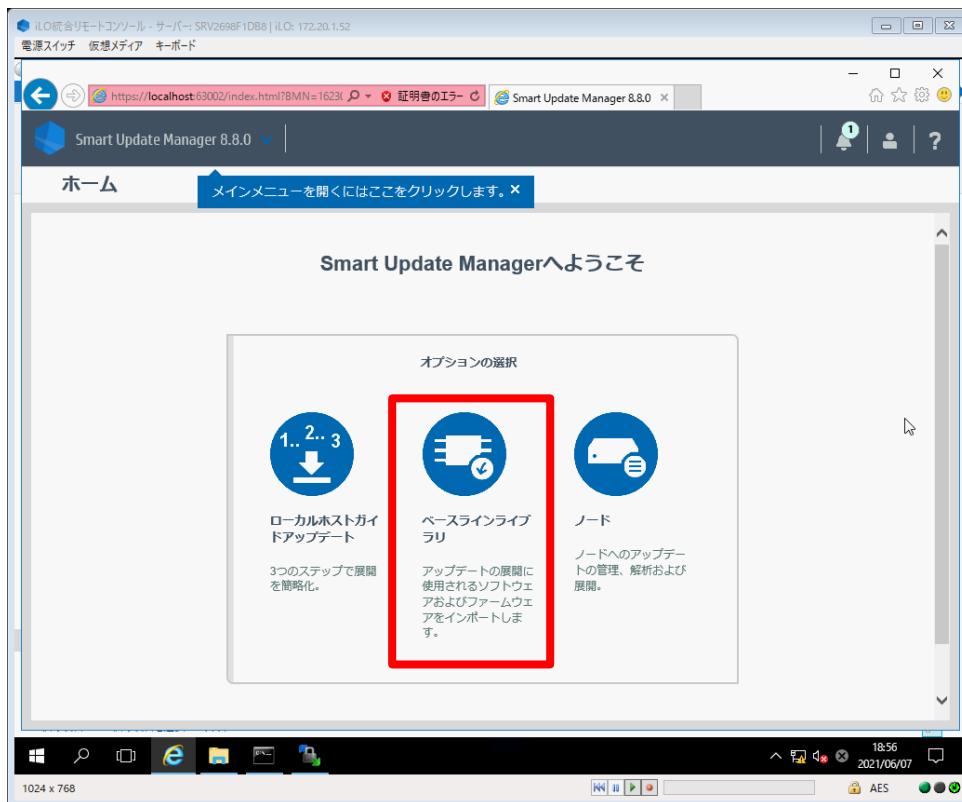


(3) SUMが起動します。



2.2.5. ドライバパックのインポート

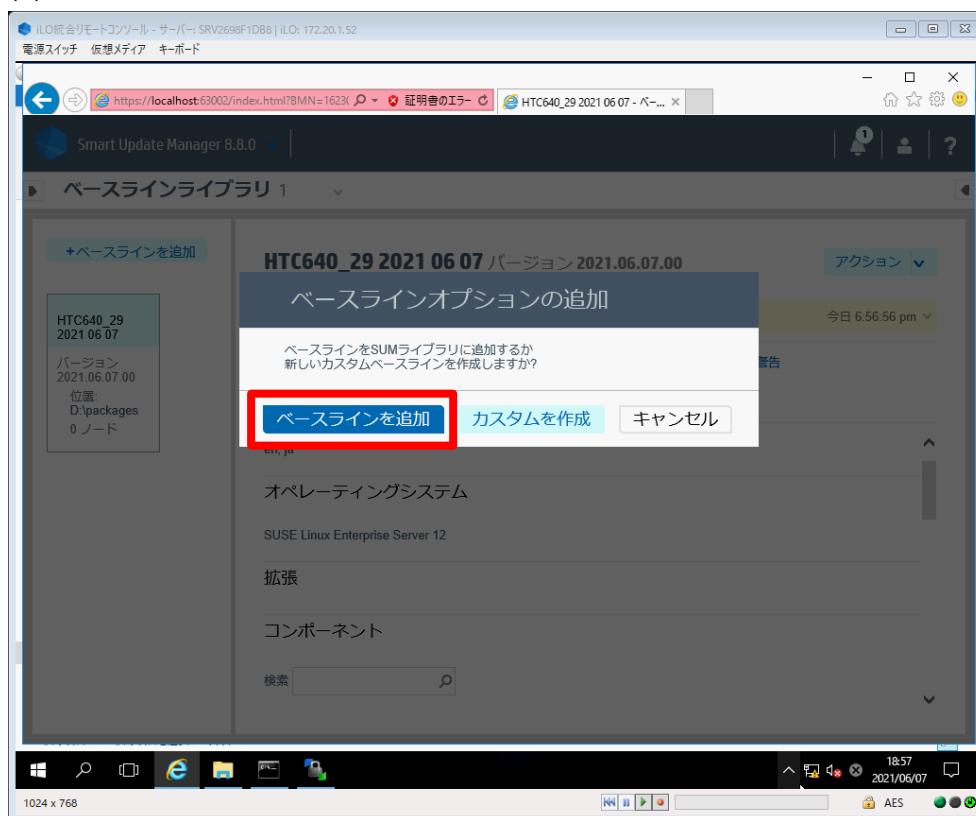
(1) SUMの画面から「ベースラインライブラリ」を選択します。



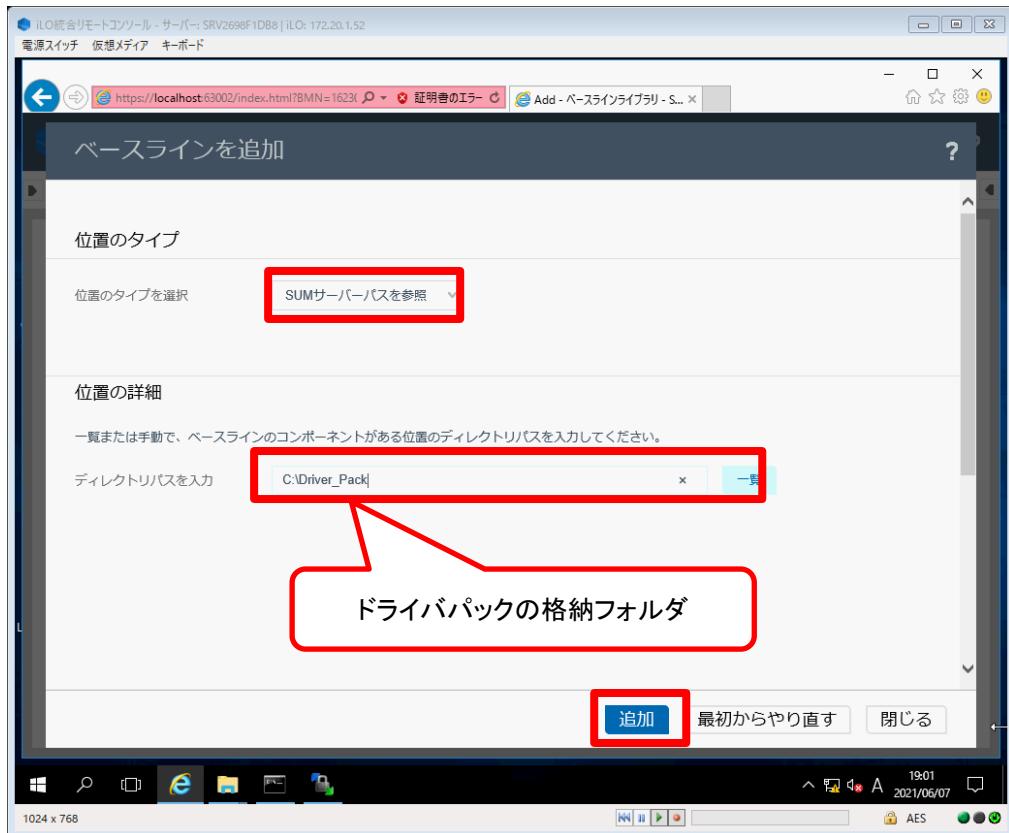
(2) ベースラインライブラリ画面に遷移します。 初期画面では、マウントしたハードウェア安定稼働支援サービス向けSPHがベースラインとして登録されています。 左上の「ベースラインを追加」を選択します。



(3) ベースラインオプションの追加画面で「ベースラインを追加」を選択します。



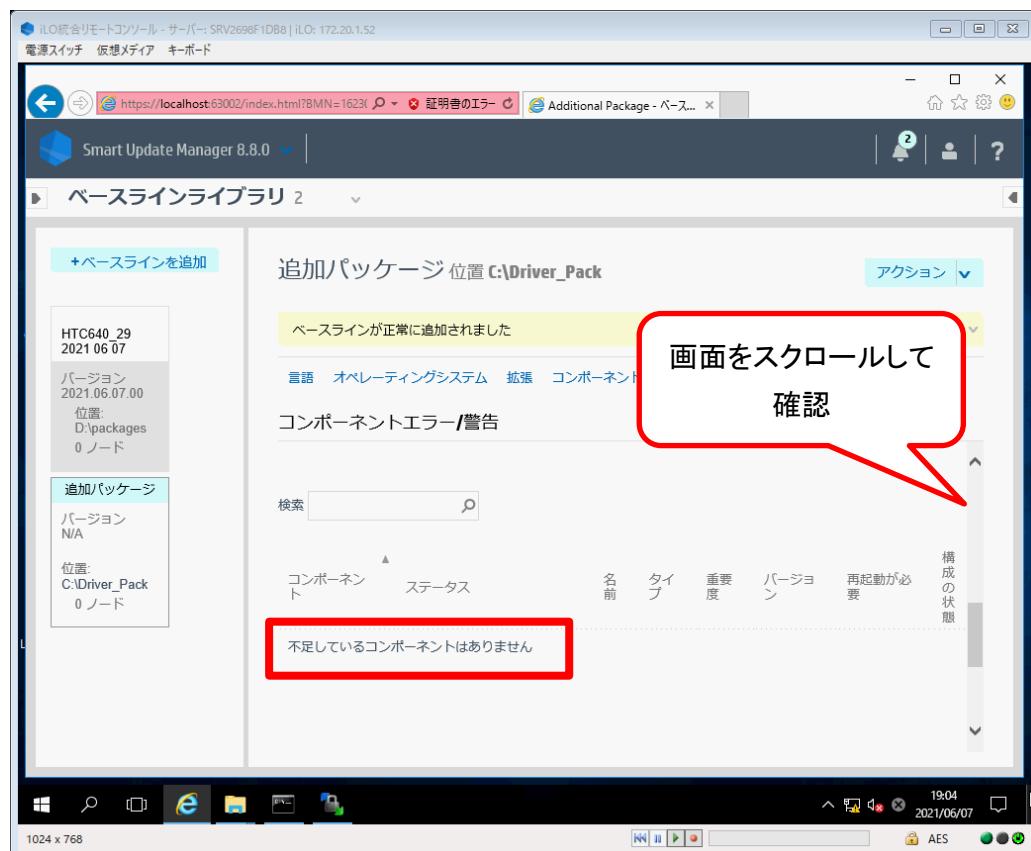
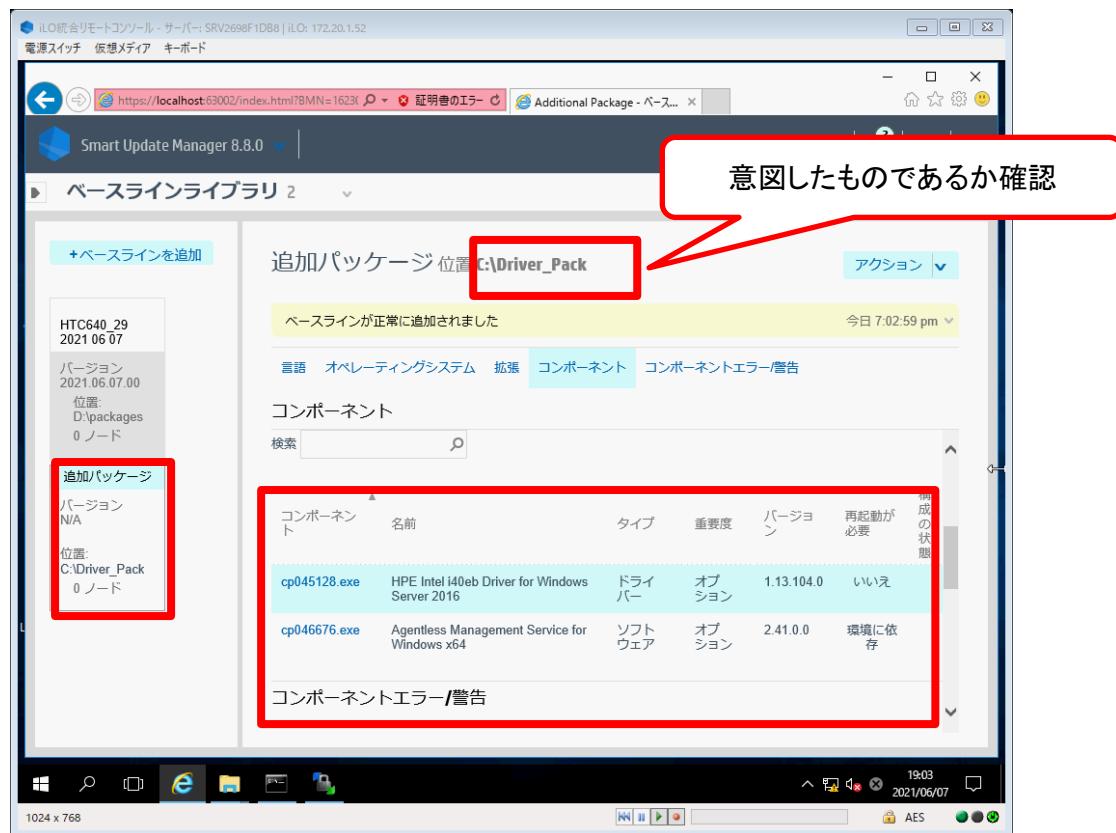
(4) ベースラインを追加画面で、位置のタイプを「SUMサーバーパスを参照」とし、位置の詳細のディレクトリパスに、ドライバーパックを格納したフォルダをフルパスで入力してください。入力後「追加」を選択します。



(5) 「閉じる」を選択します。



(6) 選択したドライバパックがベースラインに追加されます。画面に従い、ベースラインが正常に追加されているかを確認してください。

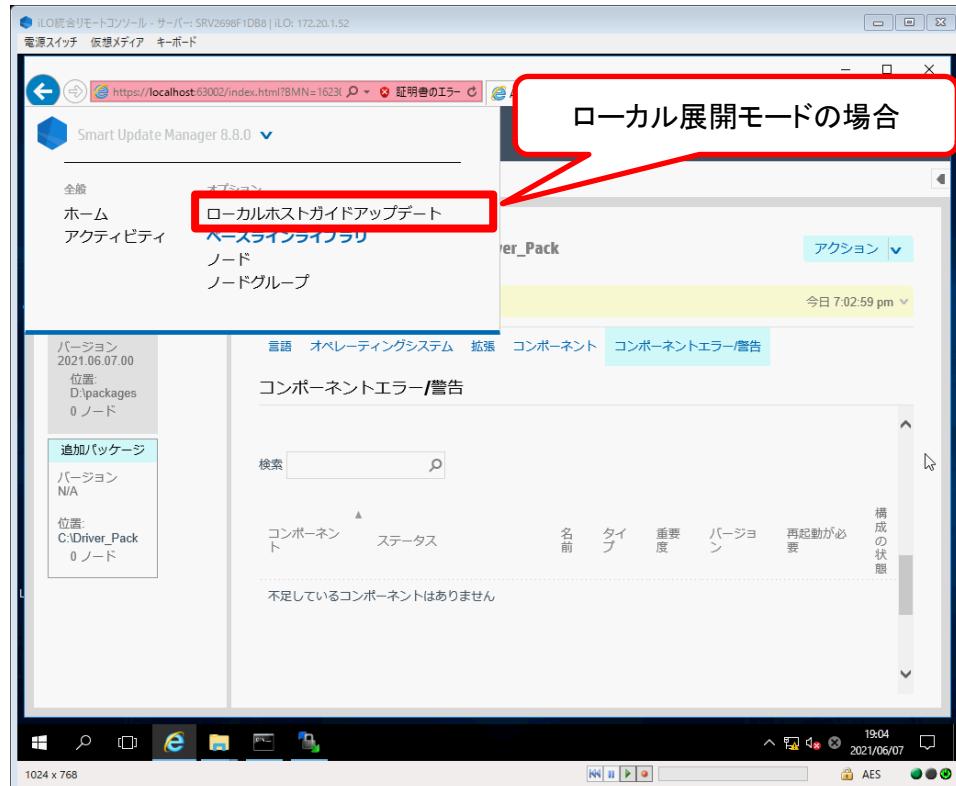


2.2.6. 追加パッケージの選択とドライバのインストール

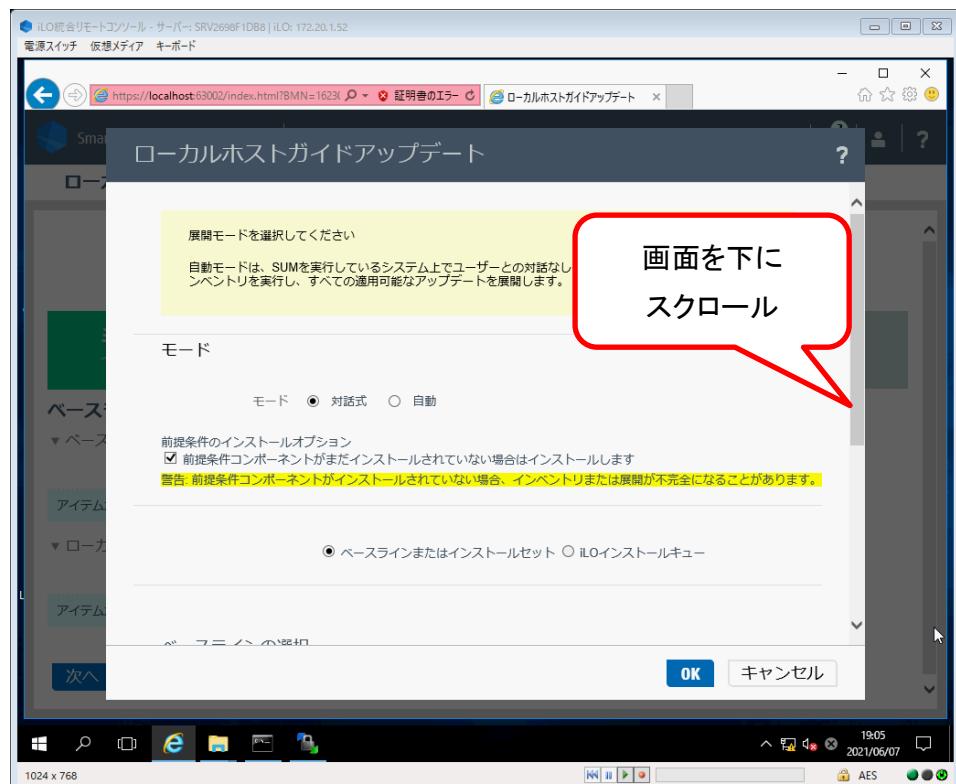
SUM で使用する展開モードによって、以下の手順で追加パッケージを選択してドライバパックをインストールします。

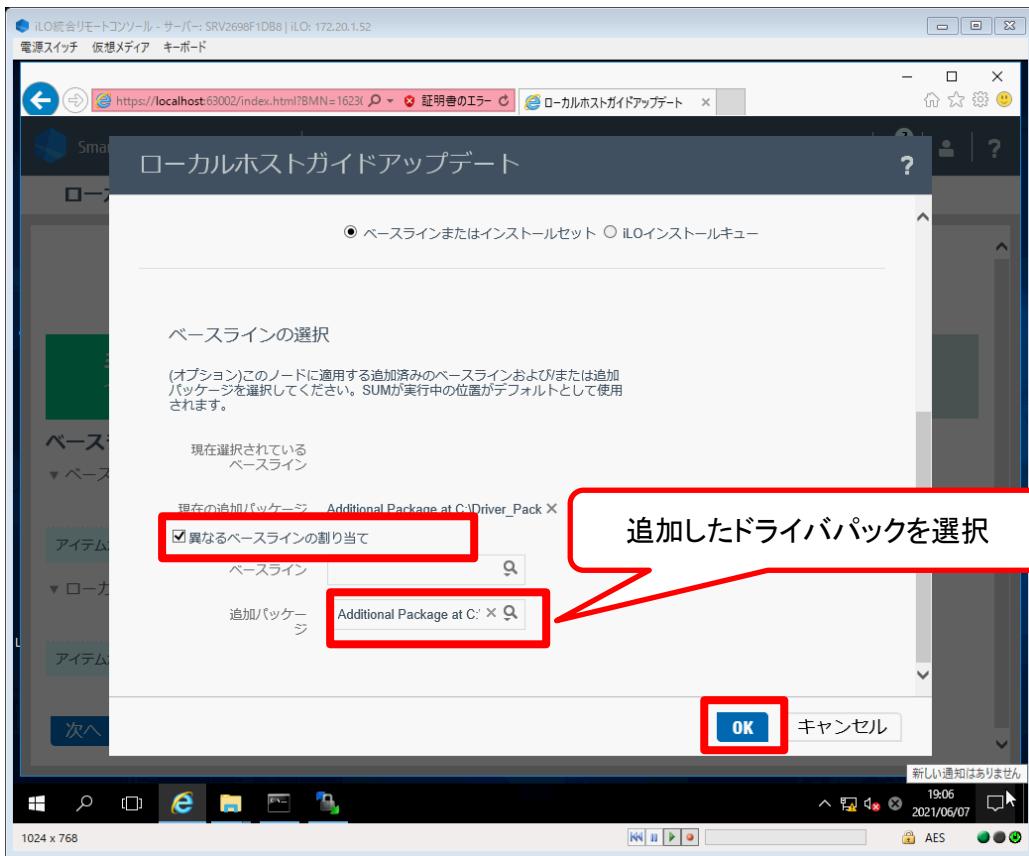
◇SUM のローカル展開モードを使用してインストールする場合

(1) 左上のメインメニュー選択画面から、「ローカルホストガイドアップデート」を選択します。

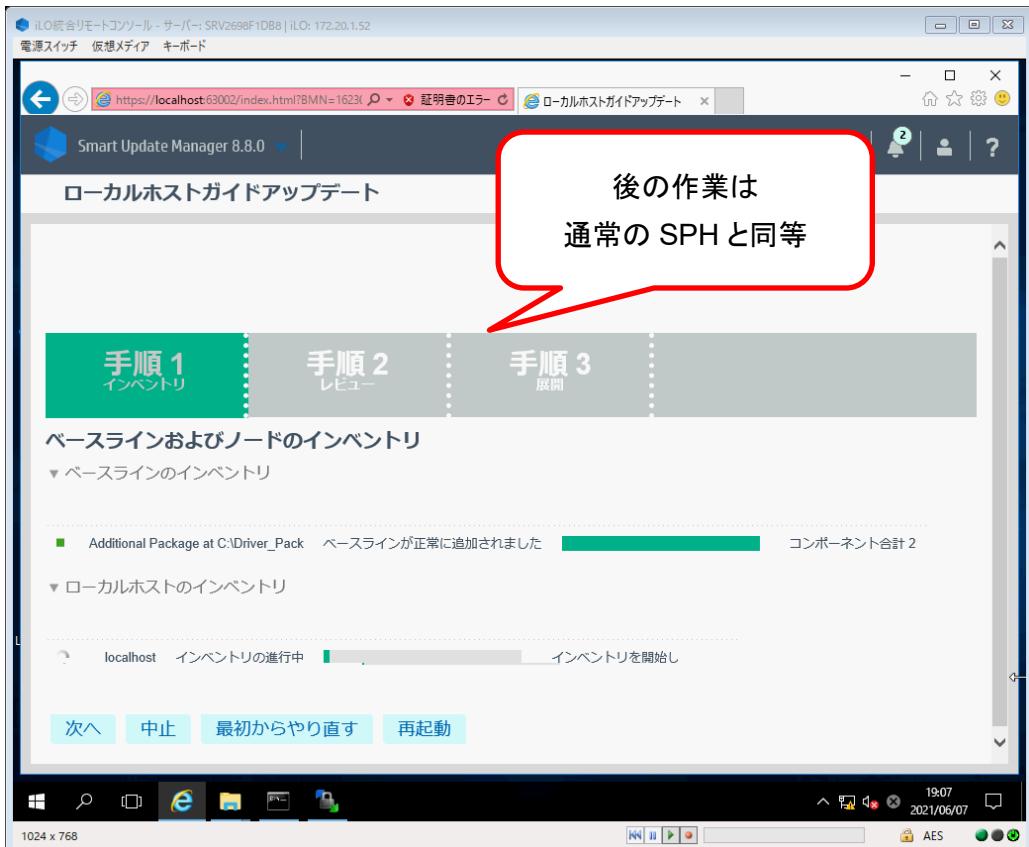


(2) ローカルホストガイドアップデート画面のベースラインの選択で、「異なるベースラインの割り当て」をチェックし、追加パッケージ欄でドライバパックを選択します。選択後、OKを選択します。



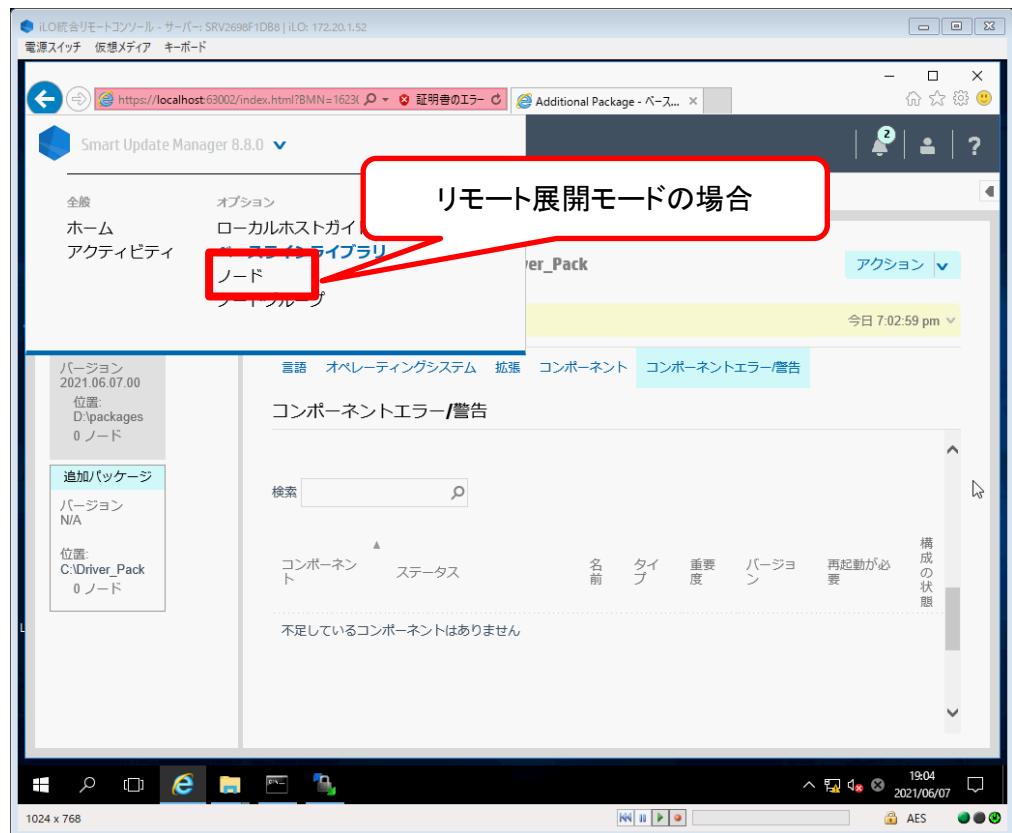


(3) ローカルホストのインベントリが進行します。これ以降は通常のSPHの手順と同様に、レビュー、展開を順次実施します。SUMの指示に従って実行してください。
これでインストールは終了です。



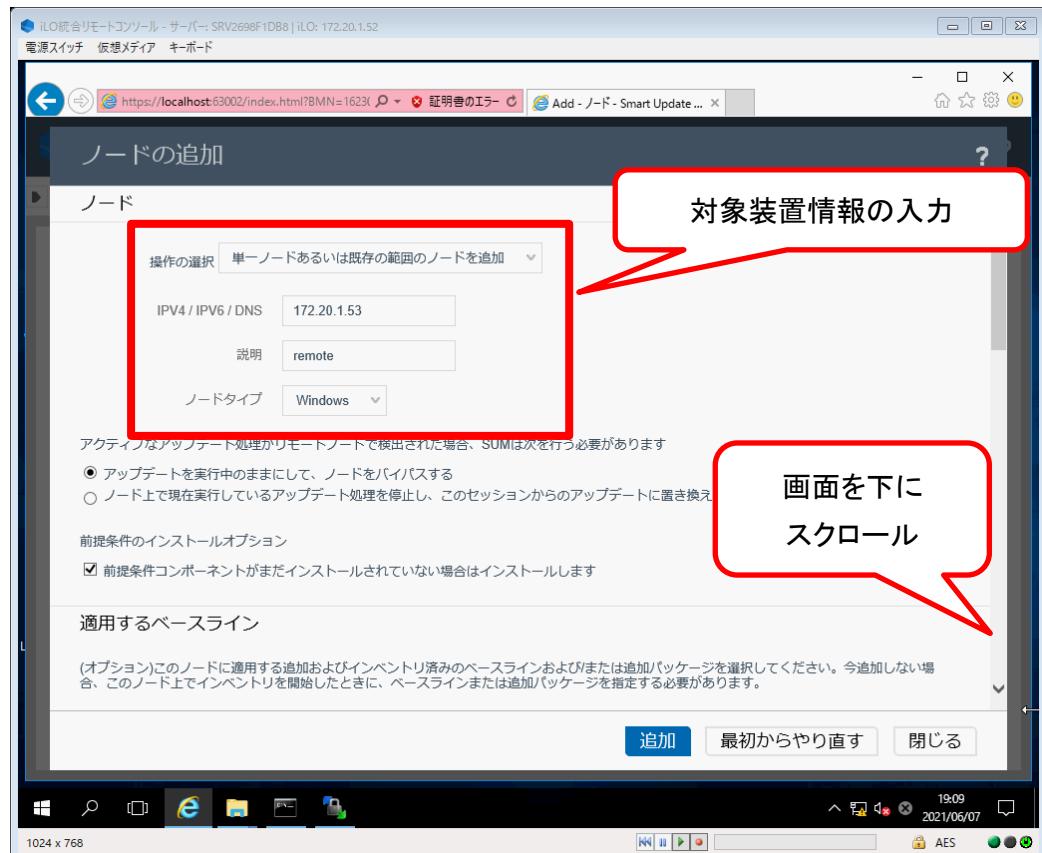
◇SUM のリモート展開モードを使用してインストールする場合

(1) 左上のメインメニュー選択画面から、「ノード」を選択します。

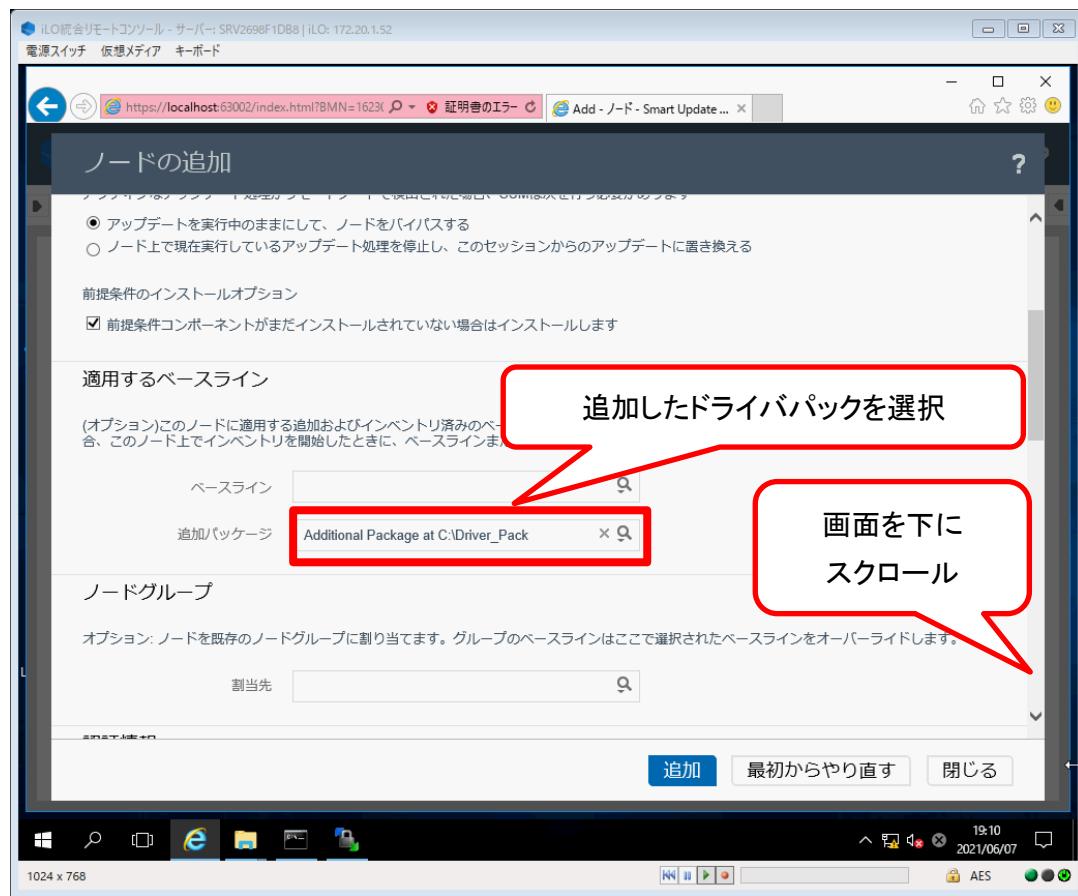


(2) ノードの追加画面で、対象のシステム装置の情報を入力します。

ノードの追加の詳細はSUMのマニュアルを参照してください。



(3) 画面下の適用するベースラインの追加パッケージ欄で、ドライバパックを選択します。



(4) ノードの認証情報を入力後、追加を選択してください。

対象システム装置がノードに追加されます。



(5) これ以降は通常のSPHの手順と同様に、追加したノードのインベントリの実行、レビュー、展開を順次実施します。これでインストールは終了です。

2.3. 制限事項

ドライバパックのアーカイブファイルに含まれる `Readme` ファイルの制限事項をお読みになり、該当する場合は記載内容に従って対処してください。

HA8000V シリーズ ハードウェア安定稼働支援サービス
ドライバパック ユーザーズガイド

初版 2022 年 4 月

無断転載を禁止します。

◎ 株式会社 日立製作所

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号

<http://www.hitachi.co.jp>